

## 平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 14 日

上場会社名 **常磐興産株式会社** 上場取引所 東証一部  
 コード番号 9675 URL <http://www.joban-kosan.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 一彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 秋田 龍生 TEL(03)3663-3415

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	36,861	9.8	1,733	78.8	1,333	137.0	863	—
19年3月期第3四半期	33,566	2.0	969	△35.9	562	△18.9	△91	—
19年3月期	47,306	—	1,099	—	433	—	△603	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	11.98	—
19年3月期第3四半期	△1.27	—
19年3月期	△8.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	62,981	14,067	22.3	194.85
19年3月期第3四半期	66,906	15,343	22.9	212.90
19年3月期	63,617	14,896	23.4	206.37

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	2,203	△644	△672	4,409
19年3月期第3四半期	—	—	—	—
19年3月期	805	216	△996	3,535

(注) 連結キャッシュ・フローの状況につきましては、当第1四半期より開示しているため、前年同四半期の実績は記載しておりません。

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

平成19年11月16日公表の連結業績予想に変更はありません。

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	49,150	3.9	1,870	70.1	1,130	160.7	810	—	11.24

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[ (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。 ]

**※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項**

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在においての入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当連結第3四半期における我が国経済は、企業収益の改善を背景に緩やかな回復基調がみられましたものの、米国サブプライムローン問題を起因とした株価の下落や原油をはじめとする原材料価格の高騰等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

①観光事業は、主力のスパリゾートハワイアンズにおきまして、3月『ワイワイ・オハナ』、8月『アロハタウン』、11月『フラ・ミュージアム』と相次ぐ新施設のオープンや映画『フラガール』の話題性との相乗効果、さらにテレビCMによる広告宣伝活動や多様化する顧客ニーズに対応した商品提供等により首都圏および地元圏からの集客に奏功し、第3四半期としては開業以来最高の入場者数127万人を突破するなど好調に推移いたしました。またクレストヒルズゴルフ倶楽部においては首都圏からの宿泊ゴルフパックは堅調に推移するものの、地元圏の利用者数が減少しました。ホテルクレスト札幌は高い客室稼働率(80.5%)を維持したものの札幌市内への新施設オープン等がありやや減少いたしました。

この結果、利用人員は、ハワイアンズ(日帰り)が1,273千人(前年同期比57千人、4.8%増)、ホテルハワイアンズ(宿泊)が292千人(前年同期比6千人、2.4%増)、クレストヒルズゴルフ倶楽部が37千人(前年同期比5百人、1.5%減)、山海館が6千人(前年同期比1千人、15.5%減)、ホテルクレスト札幌が41千人(前年同期比5百人、1.4%減)となり、売上高は105億7百万円(前年同期比6億23百万円、6.3%増)となりました。

②卸売業は、燃料商事事業部におきまして、石炭部門で一般産業向け販売数量が大幅に増加するとともに、石油部門において電力向け販売数量が増加し、さらにそれぞれ単価増もあり、売上高は149億66百万円(前年同期比40億89百万円、37.6%増)となりました。

③製造関連事業は、包装部材製造部門において、自動車およびIT・デジタル家電関連の製品等が堅調に推移したものの、前年のスポット物件の減少や主力取引先のプラスチック成型品の販売数量の減少および単価減等により減収となりました。一方、鉄鋼機械部門においては産業機械等の輸出が好調に推移しました。この結果、売上高は66億5百万円(前年同期比10億63百万円、13.9%減)となりました。なお、前期に鉄鋼機械部門の1社が連結除外となりました。

④建設・土木業につきましては、公共投資の削減や受注競争激化に伴う落札率低下等厳しい状況で推移しました。こうした建設業の経営環境の変化を反映し今後の収益改善が見込めない状況となったことから、すでに開示のとおり既存の建設工事を完成した後解散して通常清算手続に入ることいたしました。この結果、売上高は、27億50百万円(前年同期比4億28百万円、13.5%減)となりました。

⑤不動産事業につきましては、販売用不動産売却の減少と賃貸売上の減少により、売上高は2億32百万円(前年同期比39百万円、14.3%減)となり、またその他の事業につきましては、石油小売において原油価格高騰の影響を受け堅調に推移し、売上高は17億99百万円(前年同期比1億12百万円、6.7%増)となりました。

この結果、当社グループの売上高は、368億61百万円(前年同期比32億94百万円、9.8%増)、営業利益は17億33百万円(前年同期比7億63百万円、78.8%増)、経常利益は13億33百万円(前年同期比7億70百万円、137.0%増)、当第3四半期純利益は8億63百万円(前年同期は四半期純損失91百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、前連結会計年度に比べ6億35百万円減少し、629億81百万円となりました。これは主に、投資有価証券の減少によるものであります。負債につきましては前連結会計年度に比べ1億93百万円増加し、489億13百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度に比べ8億29百万円減少し、140億67百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年11月16日公表の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理方法における簡便な方法の採用の有無

影響額が僅少な項目については、簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当連結会計年度より、法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

## 5. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 平成19年3月期 第3四半期末	当四半期末 平成20年3月期 第3四半期末	増 減		(参考) 前期末 平成19年3月期末
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産	14,189	14,168	△ 20	△ 0.1	11,925
現金及び預金	4,697	4,416	△ 280	△ 6.0	3,542
受取手形及び売掛金	5,390	6,380	989	18.4	5,815
有価証券	55	—	△ 55	—	9
たな卸資産	1,764	1,169	△ 595	△ 33.7	1,549
その他	2,302	2,219	△ 82	△ 3.6	1,027
貸倒引当金	△ 20	△ 16	4	△ 20.0	△ 19
II 固定資産	52,674	48,760	△ 3,914	△ 7.4	51,624
有形固定資産	42,706	41,820	△ 885	△ 2.1	41,839
建物及び構築物	15,114	14,856	△ 257	△ 1.7	14,977
機械装置及び運搬具	1,174	1,069	△ 105	△ 8.9	1,107
工具、器具及び備品	349	334	△ 14	△ 4.1	329
土地	26,059	25,560	△ 499	△ 1.9	25,392
建設仮勘定	9	—	△ 9	—	31
無形固定資産	53	62	8	16.3	52
投資その他の資産	9,915	6,877	△ 3,037	△ 30.6	9,732
投資有価証券	8,757	6,025	△ 2,731	△ 31.2	8,819
長期貸付金	1,073	1,690	617	57.6	1,073
その他	1,160	846	△ 313	△ 27.0	906
貸倒引当金	△ 1,075	△ 1,685	△ 610	56.8	△ 1,065
III 繰延資産	42	53	10	25.3	67
資産合計	66,906	62,981	△ 3,924	△ 5.9	63,617
(負債の部)					
I 流動負債	25,441	27,239	1,798	7.1	22,260
支払手形及び買掛金	3,961	5,088	1,127	28.5	3,912
短期借入金	13,743	15,590	1,846	13.4	12,646
一年内償還社債	1,029	1,102	73	7.1	1,152
未払金	1,194	639	△ 555	△ 46.5	2,008
未払法人税等	129	96	△ 32	△ 25.3	105
賞与引当金	195	196	1	0.8	434
工事損失引当金	59	19	△ 39	△ 67.6	75
事業整理損失引当金	—	985	985	—	—
その他	5,129	3,522	△ 1,607	△ 31.3	1,924
II 固定負債	26,121	21,673	△ 4,447	△ 17.0	26,459
社債	2,315	2,359	44	1.9	2,935
長期借入金	15,410	12,404	△ 3,005	△ 19.5	15,391
預り保証金	1,729	1,489	△ 240	△ 13.9	1,627
負ののれん	43	33	△ 10	△ 23.5	41
繰延税金負債	6,140	4,885	△ 1,255	△ 20.4	5,995
退職給付引当金	138	167	28	20.8	142
役員退職慰労引当金	232	226	△ 5	△ 2.5	217
環境対策引当金	103	103	—	—	103
その他	8	5	△ 2	△ 33.3	5
負債合計	51,563	48,913	△ 2,649	△ 5.1	48,720
(純資産の部)					
I 株主資本	12,455	12,621	166	1.3	11,763
資本金	10,221	10,221	—	—	10,221
資本剰余金	1,625	506	△ 1,119	△ 68.9	1,625
利益剰余金	671	1,961	1,289	191.9	△ 19
自己株式	△ 63	△ 66	△ 3	5.8	△ 63
II 評価・換算差額等	2,858	1,417	△ 1,441	△ 50.4	3,108
III 少数株主持分	29	29	0	△ 1.8	25
純資産合計	15,343	14,067	△ 1,275	△ 8.3	14,896
負債、純資産合計	66,906	62,981	△ 3,924	△ 5.9	63,617

## (2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 平成19年3月期 第3四半期	当四半期 平成20年3月期 第3四半期	増 減		(参考) 前期 平成19年3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	33,566	36,861	3,294	9.8	47,306
II 売上原価	29,046	31,869	2,822	9.7	41,559
売上総利益	4,520	4,991	471	10.4	5,747
III 販売費及び一般管理費	3,550	3,258	△ 291	△ 8.2	4,647
営業利益	969	1,733	763	78.8	1,099
IV 営業外収益	260	256	△ 3	△ 1.3	341
V 営業外費用	667	656	△ 10	△ 1.5	1,007
経常利益	562	1,333	770	137.0	433
VI 特別利益	174	787	612	350.7	330
VII 特別損失	895	1,244	349	39.0	1,507
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△ 158	875	1,033	—	△ 742
法人税、住民税及び事業税	65	34	△ 30	△ 46.9	87
法人税等調整額	△ 134	△ 27	107	△ 79.6	△ 226
少数株主利益又は少数株主損失(△)	3	4	1	51.4	△ 1
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失	△ 91	863	955	—	△ 603

## (3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	当四半期 平成20年3月期 第3四半期	(参考)前期 平成19年3月期
	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	875	△ 742
減価償却費	990	1,228
減損損失	19	1,003
負ののれん償却額	△ 7	△ 10
貸倒引当金の減少額	△ 5	△ 63
賞与引当金の減少額	△ 238	△ 4
工事損失引当金の増加額・減少額(△)	△ 56	72
事業整理損失引当金の増加額	985	—
退職給付引当金の増加額	24	3
役員退職慰労引当金の増加額・減少額(△)	8	△ 30
環境対策引当金の増加額	—	103
受取利息及び受取配当金	△ 88	△ 77
支払利息	577	743
社債発行費償却	14	20
持分法による投資利益	△ 125	△ 184
固定資産売却益	△ 39	△ 231
固定資産売却除却損	30	325
投資有価証券売却損益	△ 737	△ 23
投資有価証券評価損	5	6
売上債権の増加額	△ 565	△ 876
たな卸資産の減少額・増加額(△)	379	△ 324
その他流動資産の増加額	△ 1,349	△ 453
仕入債務の増加額	515	1,064
未払消費税等の増加額・減少額(△)	106	△ 464
その他流動負債の増加額	1,420	642
預り保証金の減少額	△ 138	△ 225
その他	67	60
小計	2,669	1,561
利息及び配当金の受取額	93	82
利息の支払額	△ 506	△ 714
法人税等の支払額	△ 53	△ 123
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,203	805
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	19	40
定期預金の預入による支出	△ 18	△ 33
有価証券の償還による収入	10	55
固定資産の取得による支出	△ 1,643	△ 567
固定資産の売却による収入	112	630
投資有価証券の取得による支出	△ 3	△ 23
投資有価証券の売却による収入	875	44
貸付けによる支出	△ 3	△ 18
貸付金の回収による収入	8	40
その他	—	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 644	216
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金純増加額・純減少額(△)	3,340	△ 2,916
長期借入れによる収入	800	10,115
長期借入金の返済による支出	△ 4,184	△ 9,612
社債発行による収入	—	2,584
社債償還による支出	△ 626	△ 1,184
自己株式の取得による支出	△ 3	△ 1
配当金の支払額	△ 0	△ 1
少数株主への株式発行による収入	—	19
少数株主への配当金の支払額	—	△ 0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 672	△ 996
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9	△ 3
V 現金及び現金同等物の増加額	876	21
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,535	3,697
VII 連結子会社除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△ 1	△ 183
VIII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	4,409	3,535